

防災トイレフォーラム 2016

—地方公共団体でのトイレの“備え”のあり方を考える—

開催案内

Labo.
日本トイレ研究所

ごあいさつ

災害時におけるトイレ問題は命にかかわる重要課題です。しかし日常的に話題に上がらないトイレの話題は事前の対策が進まず、これまでの震災においても深刻な状況をもたらしました。トイレを我慢することは、飲食を控えることにつながり、脱水症状や慢性疾患の悪化、エコミークラス症候群、脳梗塞、心筋梗塞など、心身に悪影響をもたらします。東日本大震災や平成 28 年熊本地震においてもトイレにまつわる健康被害が報告されています。

本フォーラムでは、地方公共団体の事例を学びながら、災害用トイレの備えの重要性を考えます。さらに実際にどのようなトイレをどのようにして備蓄を推進するのかなどについても役立つ情報を提供します。

なお、会場となる「そなエリア」(東京臨海広域防災公園)では、フォーラム実施日から1週間(11/25(金)~12/2(金))、同館内において災害用トイレガイド Web (www.toilet.or.jp/toilet-guide/)に掲載されている「災害用トイレ」を実際に見て触る事ができる展示コーナーも併催しております。多くの地方公共団体およびその関連の方々にご参加いただけることを願っています。

フォーラムの概要

日 時	2016 年 11 月 25 日 (金) 13:00~16:30 (受付 12:30 開始)
会 場	そなエリア (東京臨海広域防災公園) 2 F レクチャールーム 東京都江東区有明 3 丁目 8-35 ☎03-3529-2180 Fax03-3529-2188 URL www.tokyorinkai-koen.jp
主 催	特定非営利活動法人 日本トイレ研究所 東京都港区新橋 5 丁目 5-1 IMCビル新橋 9F ☎03-6809-1308 Fax03-6809-1412 URL www.toilet.or.jp
共 催	東京臨海広域防災公園
後援(予定)	内閣府 (防災担当)、文部科学省、厚生労働省、国土交通省、 環境省関東地方環境事務所
参加費	無料 ※終了後に交流会を実施 (4,500 円程度を予定)

併 催 (災害用トイレの展示)

日 時	2016 年 11 月 25 日 (金) ~ 12 月 2 日 (金)
会 場	そなエリア (東京臨海広域防災公園) 1 F エントランスホール
参加費	無料 (開催期間中は常設展示として実施)

フォーラムプログラム

受付

12:30～13:00

開会

13:00 挨拶／特定非営利活動法人日本トイレ研究所

報告

13:10 **【報告1】 平成28年熊本地震におけるトイレ対応事例（仮題）**

熊本県熊本市上下水道局

熊本地震では早期に物資の調達が行われた事や周辺自治体からの支援が行われた。その中で活躍した災害用トイレについて、行政対応と現地の具体的な動きも合わせて報告する。

13:40 **【報告2】 南海トラフ地震等へのトイレの備え（仮題）**

太田 智久氏（静岡県富士市役所 総務部防災危機管理課）

南海トラフ地震の津波被災想定地域の1つとされている同自治体において、自治体でのトイレに関する備えについて具体的方策を報告する。

14:10 **【報告3】 災害用トイレの“備えに対する考え方や施策”に関するアンケート結果報告（仮題）**

特定非営利活動法人日本トイレ研究所

全国の地方公共団体向けに行った備えの考え方に関するアンケート結果を報告する。

14:35 休憩（10分間）

講演

14:45 **避難生活におけるエコミークラス症候群対策**

～命を守るためには簡易ベッドと快適なトイレ環境が必要～

榛沢 和彦氏（新潟大学大学院呼吸循環外科講師）

中越地震において車中泊を中心にエコミークラス症候群が発症し、避難生活の問題として注目された。平成28年熊本地震においては車中泊・避難所問わず発症が見られた。震災関連死にもつながるエコミークラス症候群対策には避難生活の質の改善が不可欠である。命を守る備えとして何が必要か？簡易ベッドや災害用トイレの必要性も含めて解説いただく。

15:35 休憩（10分間）

パネルトーク

15:45 **災害用トイレの備えに関するQ&A（仮題）**

進行：特定非営利活動法人日本トイレ研究所

どのようなトイレを備えておけば良いのか、災害用トイレを専門とする企業、し尿処理専門家を招き、自治体における今後の災害用トイレ対応を考える。

16:20 **総括**

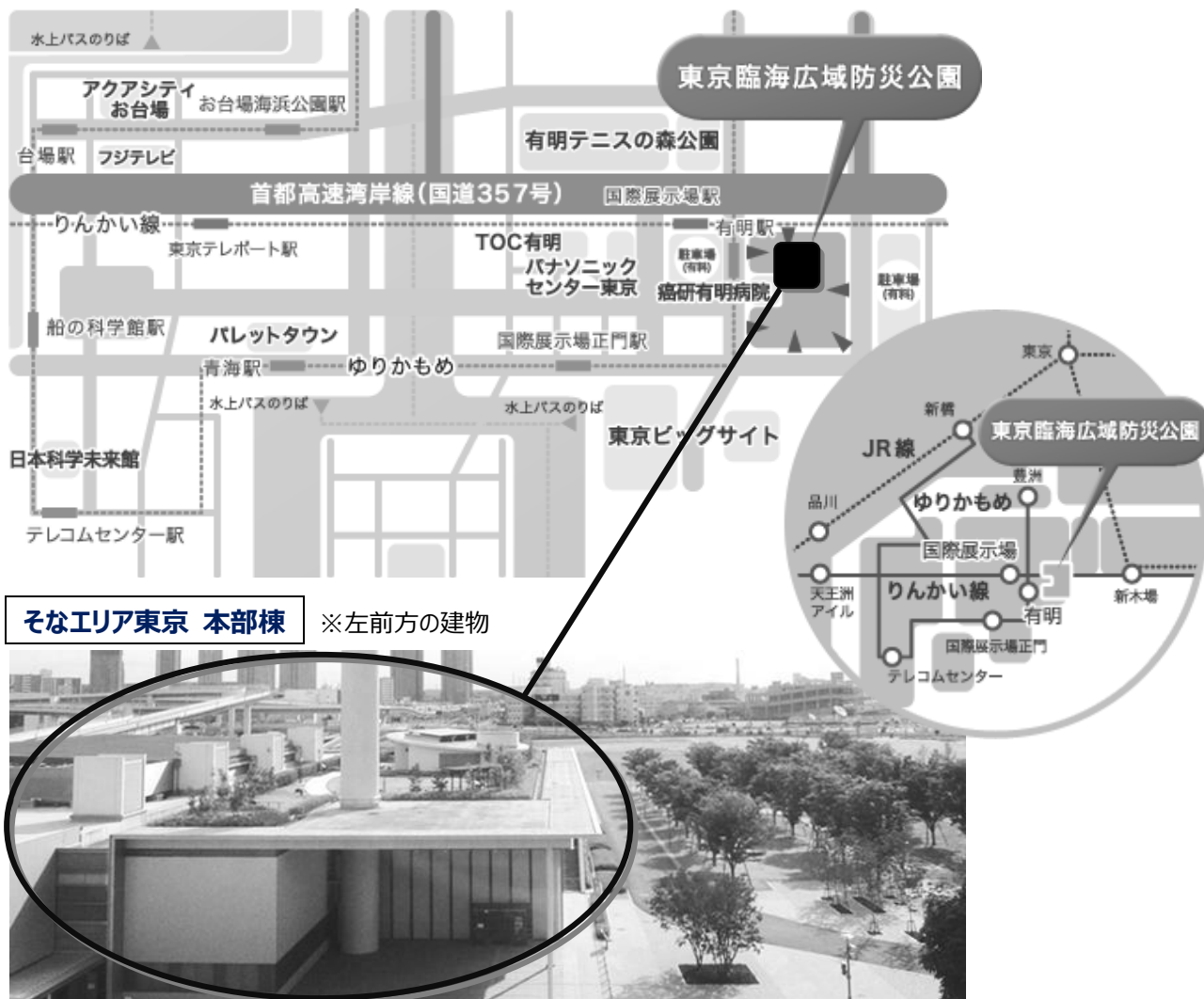
閉会

16:30

※フォーラム進行の都合により、プログラムが変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

会場アクセス

最寄駅 りんかい線「国際展示場駅」より徒歩 4 分
ゆりかもめ「有明駅」より徒歩 2 分



そなエリア東京 本部棟

※左前方の建物

※フォーラム会場の レクチャールーム は、入口正面の階段を上った 2 階にあります。

特定非営利活動法人日本トイレ研究所

日本トイレ研究所は、「トイレ」とおして社会をより良い方向へ変えていくことをコンセプトに活動している NPO（特定非営利活動法人）です。災害時トイレの分野では、阪神・淡路大震災以降、災害時のトイレ問題に着手してきました。

災害用トイレガイド Web <http://www.toilet.or.jp/toilet-guide/>

2014 年度より「災害用トイレ普及・推進プロジェクト」を立ち上げ、災害用トイレガイド Web を作成しました。本 Web サイトは災害用トイレ・衛生製品の普及とトイレ対策を推進することを目的として、22 社（2016 年 9 月現在）の災害用トイレ製品を多数掲載しています。プロジェクトでは、災害用トイレの分類方法と呼称を決めるなど、適切な災害用トイレを選ぶための考え方についても整理しております。